



会員番号(No.48447):上山由美子氏 撮影

コロナ禍臨時特集 第6回

社会福祉士とわたしp.6

- 第30回日本社会福祉士会全国大会・
社会福祉士学会(東京大会) p.2
- 司法福祉ネットワーク委員会
2021年度活動報告 p.3
- 現役社会福祉士による実習代替講義 p.4-5
- 2021(令和3)年度 理事会報告 p.7
- 公開講座・研修情報 p.8



ソーシャルワークを紡ぐ

～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～



公益社団法人東京社会福祉士会 会長 新堀 季之

2022年7月2日(土)・3日(日)に、第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会を東京で開催いたします。これまでに開催された都道府県社会福祉士会の大会をも紡ぐ、第30回の節目としての開催となります。

世界では、人類の歴史に恒久平和は未だかつてなかったとはいえ、心を痛める事態が続いています。また、新型コロナウイルスの猛威は、いまだ収束の兆しを見せません。国内に目を移しましても、南海トラフや首都直下型などの地震に対する注意が声高に言われる中、東北地方での大きな地震があるなど、これまでかつてない対応や対策が求められているところです。

さて、そのような状況下で、我われはソーシャルワーカーとして、どのような身の処し方をすべきか、何が求められているか、しっかり確認すべき状況にあるのではないのでしょうか。

倫理綱領の原文の一部には、「われわれは平和を擁護し、社会正義、人権、集団的責任、多様性尊重および全人的存在の原理に則り、人々がつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現をめざす専門職であり、多様な人々や組織と協働することを言明する」と謳われています。更に、「この専門職が社会にとって不可欠であることを自覚するとともに、社会福祉士の職責についての一般社会及び市民の理解を深め、その啓発に努める」と続きます。先に申しました社会情勢などを踏まえ、ソーシャルワーク専門職として、このことを銘記すべきであろうと考えております。

この第30回大会では、一人ひとりがwell-being を高めていくために、多様な分野で活動を継続しているソーシャルワーカーの「知」・「技術」・「価値」・「実践」を得て、社会のあり方を展望し、ソーシャルワークの実践に繋げることを趣旨とし開催いたします。

大会の準備を進めるにあたり、これまで開催された県士会の皆様のご苦勞と思いを目の当たりにしているところです。たとえば、3年前の第27回茨城大会は、おそらく従前の開催方式が行えた最後の会であるとも思われ、県士会のメンバーが参集し作り上げ、かつ、全国からリアルで集まるといふことの必要性・重要性を再認識いたしました。また、昨年(2021年)の第29回山形大会では、新型コロナウイルス感染対策下という制約の中で、オンラインという新しい開催方法について示唆を与えていただきました。

そのことから、東京大会は、現時点で考えられるフルスペック開催として、リアルで集まることの重要性、アクセシビリティの向上に資すること、およびリアルタイムでなくとも知見に触れられるメリット、それらを考慮し、参集とWebのハイブリット、およびオンデマンドで開催いたします。

会場のある江東区は東京都の東側に位置し、江戸の文化が息づく深川エリア、亀戸天神社や砂町商店街がある城東エリア、豊洲や有明など開発が進む湾岸エリアに分かれています。都内観光の拠点としても便利な場所です。

本大会でたくさんのソーシャルワーカーに出会えることを楽しみにしております。お待ちしております。

開催概要

大会テーマ ソーシャルワークを紡ぐ ～一人ひとりがつながりを実感できる社会への変革と社会的包摂の実現～

日 時 2022年7月2日(土)・3日(日) 会 場 ホテルイースト21東京(東京都江東区東陽6-3-3)

参加人数 2,000名(参集800名+Web1,200名)

大会申込み・情報はコチラ

東京社会福祉士会大会
特設ページ



公式フェイスブック



福祉と司法の協働を目指して

私たち、司法福祉ネットワーク委員会は、2011年の設立以来、罪に問われた障害者や高齢者への弁護士会との連携による支援、県民の皆様への意識啓発、再犯防止を目的とした更生支援に係る福祉ネットワーク構築に取り組んでいます。昨年度は、コロナ禍での不自由な環境でしたが、オンラインでの実施を中心に以下のような事業への取り組みを行いました。

神奈川県弁護士会との連携事業

神奈川県弁護士会との協定により、同会から依頼に基づき、罪に問われた障害者・高齢者の拘留中の接見や裁判における更生支援計画書の作成、情報共有などの支援を福祉専門職として行いました。

連携事業に関する弁護士会との打ち合わせ(全2回実施)

連携事業の実施状況報告、実施していくうえでの課題等を、委員会事務局と弁護士がオンラインで集い話し合いを行いました。

司法福祉ネットワーク委員会・ミニ学習会の実施(全5回実施)

毎偶数月の第4月曜日に、一般会員および、委員会メーリングリストメンバー(本会会員、非会員を含め64名)を対象とした委員会・ミニ学習会を実施しました。昨年度は、弁護士、社会福祉士、法務省職員など、支援の現場、第一線に立つ様々な方を講師としてお招きし、刑事司法手続きの基本的理解、司法と福祉の連携の実際、支援への思い等についてのお話をお聞きすることが出来ました。

第5回目は「司法と福祉の相互交流」をテーマに弁護士、福祉関係者の職域の垣根を越えて相互交流を図りました。アイスブレイクやお互いへの質問等を通して心温まる楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

司法福祉事務局会議の実施(全6回実施)

毎奇数月の第3月曜に、事務局メンバーが集い、連携事業進捗報告、委員会事業の企画、情報交換等を行いました。

私たちと一緒に活動しませんか？

メーリングリスト登録をいただければ、ミニ学習会のご案内、各機関の研修等の情報を随時お送りいたします。

私たちの願い・社会福祉士だからできること

罪に問われた人に限らず、生きづらさや孤立に悩む人たちの生活課題解消には、地域での温かな眼差し、寄り添う支援、居場所作りが必要です。そのためには、各現場で支援に関わる社会福祉士への期待は大きいと思います。今後とも皆様のご参加、ご理解ご協力をお願いいたします。

●これまでの取り組みから



奥田知志氏による講演



故田島良昭氏による講演



更生支援ネットワーク構築研修(オンライン開催)

現役社会福祉士による実習

新型コロナウイルスの感染予防のため、社会福祉士養成校の学生が現場実習に行けない状況が2年以上続いています。

組織率向上委員会では、この間、社会福祉士養成校に様々な分野で活躍する現役の社会福祉士を派遣し、実習代替講義を担ってきました。2021年度は、年齢や障がい、背景などに関係なく、誰もが生きがいを持ちながら安心して住み慣れた地域で暮らせる地域共生社会を実現できる人

田園調布学園大学(DCU)

川崎支部 武笠 太郎、木村 有孝



田園調布学園大学(川崎市麻生区)では、福祉、保育、心理分野で活躍する社会福祉士等となる人材育成をしており、川崎支部では講義や進路相談会での講師派遣、DCU祭でのイベント協力を担ってきました。実習代替講義については、昨年度は組織率向上委員会が選抜した4名が、本年度は川崎支部協力の下で2名が担当しました。

本年度は、介護保険の居宅介護支援事業所及びサービス事業所を運営する社会福祉士、地域包括ケアシステムの実現を目指す社会福祉士が講義を担当しました。

感染症対策を万全とした上で、高齢者及びその家族への支援方法を紹介する他、地域包括ケアシステムの実現に向けた活動紹介をしました。0~100歳の為の見守りネットワークを創る会(高津区久本)には、社会福祉士有志が協力していますが、伝統的な相互扶助や町内会活動を把握すること、川崎プロボノ部やマスコミ等の社会資源活用、先駆的事例の共有等のポイントも紹介しました。

社会福祉士は、高齢者等の個別支援や家族の相談等に加え、様々な社会資源の情報収集、その新規開発、法律や制度

の改正に向けた提言等も担う専門職です。

今回の講義では、少しでも実習の雰囲気を感じることができるよう、川崎市内で実践する具体的な活動を写真等で紹介しつつ、現場の声も伝えました。また、学生が理想とする地域社会や活動拠点に求められる要素等についてのグループワークを行うことで、地域社会の特徴理解と分析方法に加え、社会福祉士の専門性を追求する機会となりました。



材養成のため、新しい社会福祉士養成カリキュラムが始まりました。つまり、個別支援のマイクロレベルに加え、地域社会を基盤とする活動等のメゾレベル、政策提言や社会資源の開発を含むマクロレベルでの実践者の育成が必要です。

幅広い分野で活躍することに加え、職能団体・神奈川県社会福祉士会で専門性を磨き続ける社会福祉士を選抜し、学生にとって有意義となる講義を提供しております。

関東学院大学

横浜支部 尾形 淳子



関東学院大学社会学部(横浜市金沢区)は、多様な存在である個人の理解・尊重し、社会問題を解決していく方法を考案できる実践力のある人材として社会福祉士の養成を行っています。

神奈川県社会福祉士会横浜支部は、「学生のうちから職能団体である社会福祉士会の存在について、社会福祉士を取って職能団体に所属する意義について知ってもらう」ために、これまで実習前の授業や実習報告会にコメンテーターを担当

するなど、社会福祉士の養成に職能団体として協力をしてきました。

コロナ禍2年目の2021年9月神奈川県社会福祉士会に関東学院大学より、規定の実習ができなかった学生5名に対し計5日間の実習代替講義の依頼があり、横浜支部で講義・演習を受け持つこととなりました。

1日目はこども家庭支援分野でNPO法人シャーロックホームズ代表理事の東恵子さんより子育て支援施策と地域の子育て資源について。2日目は生活困窮分野でインクルージョンネットかながわの相談員深沢武さんから、支援機関・利用者理解やワークを交えた自己理解について。3日目は川崎支部の木村有孝さんが多文化ソーシャルワークについてオンライン講義後、Jamboardを活用し、模造紙にポストイットを貼るようなグループワークも行いました。4日目は高齢者福祉について、横浜型の地域包括ケアシステムの拠点である地域ケアプラザの機能の説明を横浜市すすき野地域ケアプラザ所長の小藪基司さんから、5日目は障害者支援分野について横浜市戸塚区にある朝日塾の通所事業担当の徳田千春さんから精神知的障害者の定義や法制度の歴史、日常業務の中でのソーシャルワークの視点等、計5人の講師と横浜支部の幹事で実習代替講義を行いました。

相談援助実習は学生が福祉の専門家として歩いていく上で貴重な機会です。コロナ禍にあって、実習ができなくても、現役の社会福祉士や実践家の話とともに職能団体である社会福祉士会のことを知ることで現場の空気感と社会福祉士の専門性を感じられるような演習を行いました。受講した学生が社会福祉士となり人と関わる仕事や活動に従事するとき今回の講義を通して学んだことを活かして社会に貢献してくれることを願っています。



社会福祉士とわたし



川崎支部 国兼淳子さん

福祉の世界とは全く関係のない商社に就職し、結婚して娘を育てながら、何か仕事をしたいなと思って飛び込んだのが、この女性保護、男女共同参画の分野の神奈川県の非常勤の相談員でした。いろいろな状況で相談にいらっしゃる女性と携わる中で、なんと自分は見たいものしか見てこなかったのか、聞きたいことしか聞いてこなかったのかと、省みることになりました。そして大学受験よりも勉強して、社会福祉士の資格をとりました。

「自己責任」という言葉で、困難を抱えさせられた女性たちを簡単に片づけてしまう。そこに社会の不条理や制度の未整備は出てきません。「困難を抱えた女性」と、あたかもその方に問題があるようにしてしまうことに疑問を感じています。コロナ禍では、弱い立場の人達への影響が大きく表れています。家庭内に居場所のない若年女性、テレワークが多くなり疲弊するDV被害者女性。閉塞感が続く中で女性の自殺も増えています。

私たちは誰でもちょっとしたことで、マイノリティの立場になることがあります。でも何で人口の半分を占める女性が、社会でマイノリティにならなければいけないのか。そこにジェンダーの問題があります。そして、弱肉強食、支配するものが偉いという考え方があります。でも、それでは本当にもともに生きる社会は作れません。誰もが生きやすい社会、対等・平等と一緒に未来を描けるようになることを願って男女共同参画社会の実現を目指しています。

社会福祉士として相談に関わる中で、最近気を付けていることは、「正しい問いをしていく力」です。リストをチェックしていくリスクのアセスメントは大事ですが、この方が本当に望むところはどこにあるのか、どう自分の人生を生きたいと思っているのか、語りやすいように質問していく力が求められています。そして、相談者が出している小さなSOSのサインを見逃さずに、そこに介入するような質問をする力が今、福祉の現場にいる社会福祉士に求められていると思います。

そのためにも、色々な外からの圧力で弱ってしまった相談者が本来持っているチカラをとりもどせるようにサポートすることを心がけています。自分ができることは本当に小さなことかもしれませんが、みんなで繋いで紡いでいく。そんな一人になれたらいいなと思って、これからも社会福祉士の仲間を増やしながらか活動していきます。



〈2021 (令和3) 年度 理事会報告〉

※理事会は偶数月通常・奇数月臨時：
感染対策で会議形式はすべてオンライン会議

■臨時理事会 (通し開催回数第8回目) 2021年12月14日 (火) 19:30~21:30

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 14名 監事: 吉田・東海林 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 入退会審査(11月分)…入退会審査→11月入会2、退会4、転入0、転出1、6月末会員数3,120、県内登録者数18,996、組織率16.42%。 議案2: ばあとなあ神奈川名簿登録審査・後見人等候補者推薦、法人後見状況…名簿登録に係る異動状況12月1日登録者数635、家裁名簿登載者数は576。新規登録者0、抹消1。法人後見9件。 議案3: 規則類改正案について…①規則2号会費規則案 ②規則61号組織運営における情報伝達に関する規則案 ③規則62号組織運営における情報伝達運用に関する規則案 を検討、承認。 議案4: 臨時代議員総会議題案について…議題を第5期理事辞任による理事欠員の補充案について・神奈川県福祉士会入会促進対策案についてと決定。 議案5: 代議員辞任による予備代議員の繰り上げについて…第1地区の代議員1名が辞任したため、予備代議員が繰り上がりとなった。

協議事項〈全了承〉 ①日本社会福祉士会依頼…マクロソーシャルワーク研修の県士会実施に関する意向調査について ②2022年1月~3月の理事会開催日程の確認

報告事項〈全了承〉 ①正副会長動向(前回理事会以降12月13日迄) ②2021年度10月分までの会計執行状況 ③各事業部委員会2か月報告(10月・11月分 12月10日提出期限) ④支部活動報告 ⑤推薦後援状況…社会福祉法人いきいき福祉会のケアラー支援シンポジウムの後援、山北町の高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会委員推薦、神奈川県精神保健福祉センターの地域自殺対策包括相談会依存症包括相談会こころとくらしの相談会相談員の推薦確認。 ⑥11月9日開催臨時理事会議事録 ⑦家庭裁判所との情報共有

■臨時理事会 (通し開催回数第9回目) 2022年1月18日 (火) 19:30~21:00

議長: 隅河内会長 議事録署名: 出席全理事・監事 出席理事: 14名 監事: 吉田・東海林 事務局: 2名

審議事項〈議事全承認〉 議案1: 入退会審査(12月分)…入退会審査→入会2名、転入1、転出0、退会6、12月末会員数3,117名、県内登録者数18,997名、組織率16.41% 議案2: ばあとなあ神奈川後見人等候補者推薦、法人後見状況について・法人後見: 新規受任案件について…名簿登録に係る異動状況は、1月1日登録者数は635、家裁名簿登載者数は576。新規登録者0、再登録0、抹消0。後見人等候補者推薦の状況1月14日現在、12月推薦依頼40件推薦済29件、調整中11件、不受理0・取下げ0件 法人後見10件目審議し受任。 議案3: 予備代議員の繰り上げについて…第2地区の予備代議員1名の代議員繰り上げ承認。

協議事項〈全了承〉 ①臨時代議員総会について…1月29日の臨時代議員総会議題及び内容確認。1月13日現在、代議員総数57名のうち、出欠回答状況は、出席12名、欠席委任状ありが35名

報告事項〈全了承〉 ①第6期役員候補に関する選挙管理委員会からの報告 ②業務執行理事…正副会長動向(前回理事会以降1月17日迄) ③2021年度11月分までの会計執行状況 ④推薦後援状況…社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会依頼の多文化高齢社会ネットかながわの後援、神奈川県福祉子ども未来局依頼の神奈川県いじめ問題再調査会委員に隅河内会長を推薦したほか、計4件の推薦確認。 ⑤12月14日開催第4回通常理事会議事録…確認。

■2021年度臨時代議員総会 2022年1月29日 (土) 10:30~11:02

議長: 江原 颯 (第2地区)・栗田佳子 (第3地区) 議事録署名人: 隅河内会長

〔出席代議員〕 議決権のある総代議員数: 57名 この議決権の総数: 57個 出席代議員数: 54名 (出席11名+委任状43名)

出席理事: 13名 監事: 2名 事務局: 5名

審議事項 議案1: 第5期(2020・2021年度)理事辞任による理事欠員の補充(案)について…菅野清理事の後任山崎智美氏が理事となった。 議案2: 神奈川県社会福祉士会入会促進対策(案)について…日本社会福祉士会の趣旨に沿い、30歳以下を対象に入会手数料・会費・管理費用を入会年度に限り全額免除(ただし2022~2024年度の3年間限定)とする会費規則改正案の承認。



公開講座 & 研修会

お申込み・
お問合せは

電話: 045-317-2045

FAX: 045-317-2046 e-mail: web@kacsw.or.jp
公益社団法人神奈川県社会福祉士会 事務局 までお願いします。

月	日	開始時間	終了時間	研修名	概要	場所	主催	対象	費用
5	13	19:30	21:00	情報交換会× たまひよオアシス	社会福祉士がお茶を飲みながら、 ワールドカフェ方式で自由に 意見交換する場です。	オンライン	組織率向上 委員会、 川崎支部	県内の 社会福祉士	無料
5	15	14:00	16:00	外国につながる 子どもたちの生きづらさと 支援の課題	外国につながる子どもたちの 支援と川崎市ふれあい館の 取り組み	オンライン	多文化 ソーシャルワーク 委員会	会員及び 県民	無料
5	21	13:40	14:20	支部全体会	今年度活動計画等 (市民公開講座の後、 16:30～懇親会予定。 但しコロナ状況により変更有)	みなパーク (藤沢駅徒歩3分)	湘南東支部	支部会員	無料
5	21	14:40	16:10	市民公開講座	示現寺・鈴木住職からの学び～ 「生きること」「死ぬこと」そして 「地域福祉」を語る	みなパーク (藤沢駅徒歩3分)	湘南東支部	どなたでも	無料
5	27	19:30	21:30	たまひよクラブ(県域)	先輩社会福祉士からの話を 聞いた上で、感想、交流、 親睦を深める場です。	オンライン	組織率向上 委員会	合格後 3年未満の 社会福祉士、 養成校の学生	無料
5	28	14:00	16:00	ソーシャルワーカーの 未来	ベテランSWによる、SWとして 大切にしてきたこと、これからも 大切にしていきたいことについて のディスカッション	ひらつか市民活動 センター及び オンラインによる ハイブリッド形式	湘南西支部	社会福祉士、 興味関心の ある方	無料
5	28	16:15	17:45	湘南西支部全体会	今年度活動計画及び 支部会員の情報交換等につ いて	ひらつか市民活動 センター及び オンラインによる ハイブリッド形式	湘南西支部	支部会員	無料
5	29	13:30	16:10	横浜支部講演会& 全体会	コロナ禍のこども・高齢・ 障害分野の実践を語り合う パネルディスカッション& 活動報告・活動計画	オンライン	横浜支部	会員	無料
6	24	19:00	21:00	川崎支部全体会・ 講演会	川崎支部の事業計画等 紹介後、講演会を行います。	ハイブリッドの予定 会場: (ミューザ川崎・ 市民交流室、 オンライン)	川崎支部	会員、 講演会は 県民も参加可	無料

開催を予定しております研修・公開講座等は、新型コロナウイルスの感染状況により、やむなく開催を中止、あるいは延期する場合がございます。ご迷惑をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。
なお、最新の状況につきましては本会のホームページをご確認ください。

<http://www.kacsw.or.jp/publics/index/234/>

神奈川県社会福祉士会 研修 講座

検索



編集後記

春の義理

京都市右京区御室大内にある真言宗御室派の総本山の寺院、仁和寺。その境内に咲く桜を「御室桜」と呼び、毎年京都を彩る代表的な風景である。有名な御室桜だが、厳密には「御室桜」という品種は存在せず、広義には仁和寺に植えられている園芸品種の桜、「サトザクラ」の総称であるとされる。遅咲きの桜で京都市内に咲く桜では一番遅くに開き、見頃の期間がとても短く、古くから京の人にとってこの桜を見ないと「春の義理」が立たないと言われた桜でもある。

大正から昭和の戦前戦後にかけて活躍した川端康成の小説「古都」の中にも「御室の桜も一目見たら、春の義理が済んだようなものや」とある。「義

理」という言葉には物事の正しい筋道。また、人として守るべき正しい道などの意味がある。京都人は春の名残として、遅咲きの「御室桜」をせめて一目見に行き、その姿を愛でることが「春の義理」であると表現した。御室桜を見ずして、次の季節には越せないものなのだろう。京の「粋～すい～」という幾世にも受け継がれる文化に、かすかに触れた気がする…。

表紙の写真は小田原城の桜であるが、亡き父が一度愛でてみたいと話していたことを思い出す。「春の義理」、小生は今年も果たせそうにない…。

(広報委員長:日岡 明)